



おにぎり通信

No. 02

ひとさじの会ニュースレター 2017

2017年6月30日

発行：社会慈業委員会（ひとさじの会）

〒111-0022

東京都台東区清川1-8-11 光照院内

hitosajinokai@gmail.com

<http://hitosaji.jp>

嵐の夜に

—継続の上に成り立つ関係性—

ひとさじの会 代表 高瀬顕功



平成28年8月22日、台風9号が猛威を振るう中、ひとさじの会の活動は行われました。台風の関東上陸は平成17年台風第11号以来、実に11年ぶりのことでした。

猛烈な雨と風により、多くのボランティア参加者が集まれない中、なんとか集まった10名ほどのメンバーでその日の活動を行うことにしました。しかし、暴風雨の影響で外での炊事は不可能だったため、おにぎりなしで夜回りすることに……。その代わりに、濡れてしまったであろう体や荷物を拭いてもらおうと、タオルを大量に買い、医療品とともにお届けすることにしました。

夜になると暴風雨は収まりましたが、私はおにぎりなしで回ることに不安がありました。天候のせいとはいえ、お腹を空かせている人たちに対して「今日はおにぎりはないんです」と言って回らなければいけない……。そもそも、ひとさじの会の活動日を月曜日にしたのは、この日は他団体の炊き出しが行われないからという理由でした。つまり、私たちがおにぎりを持っていかなかったら、

目次

- 1頁 嵐の夜に —継続の上に成り立つ関係性—
- 2頁 活動報告
- 3頁 りんりんふえす2016開催レポートなど
- 4頁 決算報告、寄附・支援者一覧

この日は何も口にできない人がいるかもしれない。ボランティアとはいえ、責任を果たせないことへの^{くじけ}愧たる思いを胸にその日は夜回りへと出かけたのです。

しかし、行ってみると私たちの心配をよそに、歓迎の声をかけてくださる方が多くいらっしゃいました。「よく来てくれたね。台風だから来ないんじゃないかと思ってたよ」「大丈夫だった?」「こんな天気の日、わざわざありがとう」どれも温かい言葉でした。「たとえ手ぶらでも、来てくれるだけでうれしいよ」と言ってくださる方もいました。

活動を始めて8年目。ひとさじの会を認知してくださる路上の方も多く、関係性が構築されつつあると感じています。しかし、この関係性は「おにぎり」という物質的支援の上だけに成り立っているわけではありません。むしろ、雨の日も雪の日も継続してきたからこそその「つながり」だと思っています。

もちろん、弊会を応援してくださるみなさまとの関係性もしっかりと紡いでいきたいと思っております。どうぞ、本ニュースレターをご高覧いただけましたら幸いです。 合掌

28年度の活動報告

吉水岳彦

炊き出し・夜回り

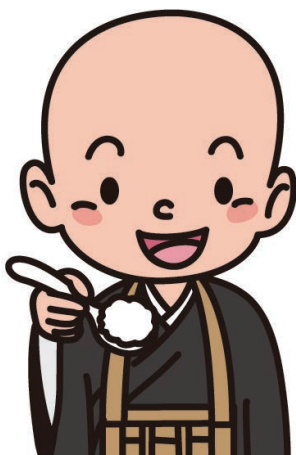
- ・期間：平成28年4月～平成29年3月31日まで
- ・開催日数24回(原則として毎月第一・第三月曜日)
- ・配食数(おにぎり) 5180個
- ・医療・物資配布数 3747点
- ・配食ボランティア 641人(事前連絡者のみ)
- ・山友会へつなく 4人
- ・もやいへつなく 1人

平成28年度は前年度の反省を踏まえ、路上に生活する方々の必要とする医薬品や物資類(ニット帽や冷えピタ等)を充実させました。そのせいなのか、上野文化会館周辺の追出しや浅草の商店街の夜間電気点灯等の影響



おにぎりを渡し、お話中

で配食数は前年より減っているものの、会話の機会は増えているように感じられました。そして、会話の増加が信頼関係を徐々に深くしていくようで、昨年度に関係団体におつなぎした人のなかには、「もう俺はどうにも生きていくのが難しい。あんたに下駄を預けるから、よろしく頼む」といって、長年の路上生活をやめて簡易宿泊所での生活に移行した方もいらっしゃいました。このように、何度も足を運び、関係性を深めていくことによって、長年の路上生活を脱して生活相談を自ら望む声も出始めています。大きな生活の変化を路上に生活する人たちに強いて求めるのではなく、できるかぎり時間をかけて信頼関係を結び、いつでも相談してもら



えるような関係性を構築していくことが今後も望まれるでしょう。

葬送支縁

〈山友会有縁の方〉

- ・焼骨の供養2件(山友会神仏壇)
- ・山友会神仏壇の棚経 7月13日
- ・お墓詣り(山友会の墓)4回

〈もやい有縁の方〉

- ・葬儀1件 8月23日(瑞江葬儀所)
- ・法事1件 6月26日(光照院内)
- ・棚経1件 7月9日(こもれび荘)
- ・合同法要1件 11月4日(光照院本堂)
- ・お墓詣り(結の墓)

〈NPO あうん有縁の方〉

- ・葬儀1件 7月15日
(きぼうの家・NPO あうん事務所)

〈夏祭り慰霊法要〉

- ・山谷夏祭り実行委員会慰霊法要 8月6日
(山谷玉姫公園)
- ・TENOHASI 慰霊法要 8月13日
(東池袋中央公園)

昨年は、山谷最後の日雇い労働者といわれたTさんが亡くなり、ひとさじの僧侶がその出棺の儀式をきぼうの家にて勤めました。また、縁あって当会メンバーが、Tさんのお骨をご実家に届けさせていただくことにもなりました。火葬の日は、大雨にもかかわらず、全国から120名を超える参列者が集まり、Tさんの死を悼みました。お酒と歌が大好きで、とてもやさしかったTさん。葬送支縁の場では、大勢の人がTさんのことを愛おしみ、語らいながらお見送りしました。いろんなところに寄り道しながら精一杯生きたということが、それだけで尊いことを感じさせられた葬送でした。生産性や勤勉さや地位などでは決してはかれない人生の価値。豊かな人生を送ったその人を送る時、送る側もまたその人の豊かさの一端を味あわせていただくのでしょうか。生活困窮者支援団体に関係する人には高齢の方が多くいらっしゃいます。おそらく、これから葬送支縁の機会は増えていくことでしょう。Tさんに限らず、今後も一人ひとり丁寧に人生最期のお見送りを、精一杯させていただきますと思います。

りんりんふえす 2016 開催レポート

工藤量導



りんりんふえす集合写真

ホームレスの方々が販売する雑誌ビッグイシュー（販売価格 350 円のうち 180 円が販売者の収入となる）を応援するイベント「りんりんふえす 2016」を 10 月 2 日に共催しました。当日はこれまで最高の 300 人以上がご来場。炊き出しは在日ベトナム仏教信者会の皆さんが揚げ春巻き、寒天デザート、そしてバインミーというベトナム風サンドイッチをおふるまい。とくにバインミーのパンは、前日に結婚された信者さんカップルから幸せのおすそわけとしてありがたく頂戴したものでした。「生きること、表現すること」をテーマとした座談会は吉水岳彦事務局長が進行役をつとめ、作家の星野智幸さんが立ち上げたホームレスの人たちが書いた文学作品を対象とする路上文学賞や路上生活経験者のダンスグループ・ソケリッサ! の表現活動の内実について深く語り合いました。

音楽部門はイベント発起人の寺尾紗穂さん、真宗僧侶でもある二階堂和美さんなど計 6 組が出演し大盛況。アンコールで故ムッシュかまやつさんの楽曲「どうにかなるさ」が流れるとお客さんが次々にステージに上がり、たくさんの

親子が思い思いに曲に合わせて踊り楽しんでいました。「空間も音も良くて演者もすごくて多幸感ハンパない素晴らしいフェス」「子連れウェルカム感が嬉しすぎた」との感想をいただき、イベント開催の意義を強く感じました。今年も 10 月 15 日に開催予定です。

今年度の活動予定

吉水岳彦

新年度は、昨年に設置された九州支部と滋賀支部の活動がそれぞれの地域で本格的に開始されます。九州支部は熊本地震被災地域の子ども支縁、滋賀支部は大型低温冷蔵庫（0.5 坪サイズ）を設置して、食の貧困問題への積極的介入を計画しています。それぞれの活動については、今後またご報告させていただきます。

東京の本部では、これまで継続してきた炊き出し夜回り支縁や葬送支縁、ビッグイシューサポートライブの応援などの他、新たな活動を計画しています。一つ目は、生活困窮者支援団体が行う簡易宿泊所やアパートで一人暮らしをしている方々への訪問事業に同行する活動です。二つ目は、炊き出しの会場の山谷光照院裏に設けられる「こども極楽堂」と提携して、子ども支縁活動への参加です。三つ目は、体調不良を訴える人の身体の観察法や薬品を渡す際の留意点についてなど、会員やボランティアメンバーに向けた研修会の実施です。上記のような新規事業を通じて、できるかぎり多角的に路上生活者や苦しい状態の子どもたちに心を寄せて参ります。



りんりんふえすの様子

社会慈業委員会（ひとさじの会）役員

代表	高瀬顕功	理事	工藤量導
副代表	服部光治	理事	渡部教道
副代表	金田昭教	理事	藤澤裕雅
事務局長	吉水岳彦	理事	安 憲永
滋賀支部長	曾田俊弘	理事	飯島弘之
九州支部長	今井英之	監査	佐藤堅正
理事	金田美幸	監査	今井順子

平成 28 年度決算報告

収入の部

(単位:円)

科目	項目	細目	本年度 予算額	本年度 決算額	差異	備考
賛助金	賛助金		900,000	2,324,000	▲ 1,424,000	会員及び正規会員の賛助金、並びに諸団体の賛助金(太田慈光会40万円)の合計
	事業協力金		500,000	500,000	0	※H27年度より(公財)浄土宗ともいき財団より事業協力金として50万円
	合計		1,400,000	2,824,000	▲ 1,424,000	
その他	雑収入		10,000	53	9,947	銀行口座利息
	繰越金		2,332,351	2,332,351	0	昨年度繰越金
	合計		2,342,351	2,332,404	9,947	
総計		3,742,351	5,156,404	▲ 1,414,053		

支出の部

科目	項目	細目	本年度 予算額	本年度 決算額	差異	備考	
事業費	炊き出し費 (※決算額合計 ¥850,964)	食材		205,821		149,036	アメ(¥106,291)、おにぎり(¥18,966)、その他食材ふりかけ等(¥80,564)
		医薬品	1,000,000	227,084			医薬品
		配布物		275,778			下着、サンダル、ブランケット、カイロ、交通費
		消耗品等		142,281			サランラップ、紙コップなど
		合計		850,964			
	研修会費	設営費、 講師謝礼等	150,000	0	150,000		
	活動推進費	企画製作費	300,000	95,364	204,636	ホームページ、バッチ、リーフレット等	
	設備費	倉庫等	550,000	657,174	▲ 107,174	炊き出し会場賃貸費(公財)浄土宗ともいき財団の賛助金から支出 電気釜、H28年度より光照院へ会場費及び消耗品費(月10000円×12)	
	提携事業費		200,000	39,944	160,056	りんりんふえす(¥15,820)、夏祭り(¥24,124)	
	緊急時支援活動費	被災地支援	700,000	315,634	384,366	九州支部(熊本震災被災地支援)	
合計		2,900,000	1,959,080	940,920			
管理費	事務消耗品費		150,000	125,976	24,024	事務用品、H28年度より会計庶務費(月6000円×12)	
	通信費		100,000	29,352	70,648	郵送代等	
	雑費		200,000	197,130	2,870	車両運搬費、理事会会議費(48,430円)等	
合計		450,000	352,458	97,542			
予備費			392,351	0	392,351		
総計			3,742,351	2,311,538	1,430,813		

総収入	5,156,404
総支出	2,311,538
次年度繰越金	2,844,866

平成 28 年度 寄附寺院・団体 (順不同敬称略)

公益財団法人浄土宗ともいき財団、一般財団法人太田慈光会、甲賀組第五部住職部会(甲賀市)、放光院(上尾市)、生西寺(文京区)、地藏寺(有田市)、妙長寺(河内長野市)、妙雲寺(益田市)、法學寺(長野市)、真行院(台東区)、回向院(墨田区)、光源寺(文京区)、瑞泉寺(台東区)、十念寺(長野市)、宝蓮寺(栃木市)、慶岸寺(横浜市)、法源寺(富士市)、照光院(江東区)、泉福寺(江戸川区)、西光寺(石巻市)、正覺院(江東区)、西光寺(墨田区)、来運寺(天童市)、光専寺(武蔵野市)、蓮宝寺(府中市)、安養寺(江戸川区)、新宿連絡会医療班
ひとなべ会員5人、ひとはち会員49人、ひとさじ会員25人でした。

浄米及び物資寄付寺院・団体 (順不同敬称略)

福泉寺(甲賀市)、正定寺(古河市)、照光院(江東区)、良心寺(横須賀市)、大長寺(鎌倉市)、大雲寺(江戸川区)、靈南坂教会(港区)、天然寺(木島平村)、真勝院(葛飾区)、来運寺(天童市)、泉水寺(富津市)、正覺院(江東区)、真栄寺(我孫子市)、来迎寺(香取市)、浄土寺(香取市)、法源寺(富士市)、天使の森(大船渡市)、ピックイシュー・ジャパン(新宿区)、在日ベトナム仏教信者会(港区)、エコライフカンパニー(熊本市)、滋賀教区浄土宗青年会近江米一升運動(草津市)、福島教区浄土宗青年会ふくしまっ子 Smile プロジェクト(いわき市)、東光寺(板橋区)、善光寺(松戸市)、実性寺(葛飾区)、蓮光寺(山武市)、圓壽寺(山武市)

上記の寺院・団体以外にも多くの方から浄米また、物資のご寄付を頂戴いたしました。また、斎藤道子さまは、活動で使用したおにぎりバックを定期的に洗濯をしてくださいました。

この場をお借りして、ご寄附、浄米、物資、そして活動に加わって下さったすべての皆様に深く御礼を申し上げます。今後ともご協力、ご支援の程よろしくお願い致します。

ひとさじの会代表 高瀬頭功拝